

## ご使用方法 (2/2) ▶ (製品により外觀等が異なりますが、操作は同じです。)

### 8. 時計機能

#### <1> 電源を切替えてください

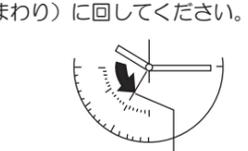
[電源切替スイッチ]で電源を「充電電池 手回し」または「乾電池」に合わせてください。  
注) 電源を切替えた後は、必ず [リセットボタン] を押してください。

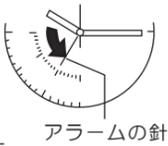
#### <2> 現在時刻を合わせる

裏面の[ふた]を開けて [針回しつまみ] を手前に引いて回し、現在の時刻に合わせてます。  
(左右どちらに回しても構いません。)  
合わせたあとは、[針回しつまみ] を元に戻してください。

#### <3> アラーム時刻をセットする

[針回しつまみ] を押し込んだ状態で回してください。

- アラーム時刻を合わせるときは、アラームの針を必ず  方向 (反時計まわり) に回してください。  
※時計まわりにアラームの針を回しますと、セットした時刻より早く鳴り出すことがあります。
- アラームはセットした時刻の約5分前から5分過ぎの間に鳴り出します。  
[例: 7時合わせた場合は6時55分~7時5分の間に鳴り出します。]



アラームの針

#### <4> アラームを鳴らす/鳴らさない

[アラームスイッチ] をONにする … セットした時刻にアラームが鳴ります。  
[アラームスイッチ] をOFFにする … アラームは鳴りません。

#### <5> アラーム音を選択する

[アラーム切替スイッチ] でアラーム音を選択してください。  
※電子音は音量が固定です。

#### <6> 鳴っているアラームを一度止めて、数分後に再び鳴らす (スヌーズ機能)

[スヌーズ/ライトボタン] を押してください。  
約40分間はこの操作を繰り返すことができます。寝過ごし防止にご利用ください。  
※アラームを完全に止めるには、アラームスイッチをOFFにしてください。  
※アラーム音が「ラジオ」の場合、スヌーズ機能は使えません。  
※スヌーズ中はアラーム音の切替が出来ません。

## その他の機能 ▶

### ■時計部のライトについて

[スヌーズボタン] を押すと時計部のライトが点灯します。

### ■充電電池の電池切れ予告表示について

電源を内蔵充電電池で使用している場合、充電電池の残量が少なくなると [内蔵充電電池残量表示] が  を点滅してお知らせします。点滅後は約8日間時計のみが動き、ラジオ、ライト、非常用ブザーは使えません。  
※充電電池の性質上、点滅を開始してからしばらくすると、消灯することがあります。

### ■防滴仕様について

本製品はJIS IPX4規格に準じた防滴構造です。屋外でもご使用になれます。

### ■充電電池の廃棄について



本機を廃棄する際、内蔵充電電池のニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部分に絶縁テープなどを貼って、リサイクル協力店へお持ちください。リサイクル及びリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ [www.jbrc.net/hp/contents/index.html](http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html) をご参照ください。

【充電電池の外し方】

- (1) 製品の裏面にある[電池ふた]を開けてください。  
(乾電池をご使用の場合は電池を抜いてください。)
- (2) プラスドライバーで充電電池のふたのネジを外して、ふたを取ってください。
- (3) 充電電池を取り出し、充電電池に接続されているリード線2本をハサミなどで切断してください。
- (4) 各リード線がショートしない用に絶縁テープなどで止め、充電電池を絶縁テープなどで覆ってください。  
※充電電池は完全に消耗した状態を確認してから取り外してください。

### ■ご注意

- この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。[リセットボタン] を押してください。
- 乾電池でご使用の場合、乾電池交換後は必ず [リセットボタン] を押してください。

## 故障かなと思ったときは ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。  
なお、新しい乾電池と交換される際は、乾電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない	・[電源切替スイッチ]が乾電池になっている ・充電電池の容量が少なくなっている	・[電源切替スイッチ]を <b>充電電池 手回し</b> にして、充電電池を充電してください。乾電池で使用している場合は、指定の新しい乾電池に交換してください
ラジオが鳴らない ライトが点灯しない	・きちんとリセットされていない ・充電電池(乾電池)の容量が少なくなっている	・確実に[リセットボタン]を押してください ・充電電池(乾電池)の容量が少なくなっている場合は、指定の新しい乾電池に交換してください
非常用ブザーが鳴らない	・きちんとリセットされていない	・確実に[リセットボタン]を押してください
アラームの音が鳴らない	・[アラームスイッチ]がOFFになっている	・[アラームスイッチ]をONにしてください
携帯電話・スマートフォンが充電できない	・各機種別の仕様による ・携帯電話(スマートフォン)が放電しきっている	・[充電ボタン]を約5秒以上押すまたはコードを逆にして充電してください ・完全に放電しきった携帯電話(スマートフォン)へは充電出来ない場合があります

## 保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店にご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただけます。修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただけます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- お客様が分解しますと、修理不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。
- ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

## 製品の特長 ▶

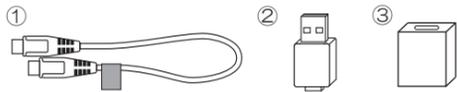
- 充電機能
- 非常用ブザー
- アナログ時計 (めざまし付)
- 防滴仕様
- AM/FMラジオ (モノラル)

## 製品仕様 ▶ (改良のため予告なく変更する場合があります。)

受信周波数 : AM…531kHz~1710kHz (チューニングステップ9kHz)  
FM…76.0MHz~90MHz (チューニングステップ0.05MHz)  
電源 : 単3アルカリ乾電池(LR6)3個(…別売り)  
内蔵充電電池(ニッケル水素電池)  
USB充電  
ACアダプター(…別売り)  
定格出力 : DC5V 400mA (USB端子)  
定格入力 : DC5V (最大6V) (USB端子)  
LEDライト : 白色LEDライト 1個(0.1W)  
入出力端子 : イヤホン端子(3.5mmミニジャック)  
USB micro B型入力/出力端子  
時刻精度 : 平均月差±20秒(気温5℃から35℃で使用した場合)  
使用温度範囲 : -10℃~+50℃  
(液晶表示判読可能温度範囲0℃~+40℃)  
アラーム : 電子音⇄ラジオの切替、約5分間スヌーズ(ラジオをアラーム音にした場合は使えません。)  
アラーム精度 : ±5分以内  
電池切れ予告 : 充電電池の残量が少なくなると  を点滅表示。  
電池寿命 :  
<乾電池のみで単独使用した場合>  
・ラジオ…約35時間(音量自盛8の時) ・時計…約3年(時計のみ使用の場合)  
・LEDライト…約60時間 ・非常用ブザー…約9時間  
<内蔵充電電池のみで単独使用した場合>  
・ラジオ…約12時間(音量自盛8の時) ・時計…約1年  
・LEDライト…約20時間 ・非常用ブザー…約3時間

## 付属品 ▶

- 取扱説明書 (本書) 1枚
- 保証書 1枚
- ①充電用コード (USB Micro B型プラグ) 1本
- ②USBコネクタ ① 1個
- ③USBコネクタ ② 1個



## 必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶

### ⚠ 警告

#### <アルカリ電池について>

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。  
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

#### <アンテナについて>

雷が鳴りだしたら、アンテナをたたくてください。感電の原因となります。

### ⚠ 注意

#### <乾電池について>

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1)  を正しく入れてください。
  - (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておく、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
  - (3) 充電式でない乾電池を充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
  - (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
  - (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
  - (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

#### <時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

#### <液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。  
万一下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

#### <防滴について>

本製品は防水仕様(JIS IPX4)に準じた防滴構造です。屋外でもご使用できますが、以下の点を十分注意してください。

- (1) キャップ、フタ類は、確実に閉めてください。
- (2) 水の中につけないでください。
- (3) 雨水など大量に水がかかる所では、使用しないでください。
- (4) 湿気の多い浴室などには長時間放置しないでください。
- (5) スピーカ部分に水が入った場合は逆さまにして水を出してください。
- (6) 水中に落としたり、水がかかった場合には、すぐに乾いた布などで水を拭きとってください。

## 多機能防災クロック

### 取扱説明書

お買い上げありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示しております製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

(例: KRO00、NRO00、CQ000など)

お客様相談室 0120-315-474

[www.seiko-clock.co.jp](http://www.seiko-clock.co.jp)

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 DKR-098Q

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。  
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。  
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。  
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

### 使用場所について

下記のような場所では使わないでください。  
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起すことがあります。  
また、本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光のあたる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 塵、埃の多い所。空气中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿気の多い所、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所での長時間のご使用。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガシが起きる場合があります。

### お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミカキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。
- <プラスチック枠の時計の場合>
  - 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
  - よこがけひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
- <木枠・金属枠の時計の場合>
  - よこがけほりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

※お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。  
また保証の対象外となりますのでご注意ください。

#### <液晶パネルについて>

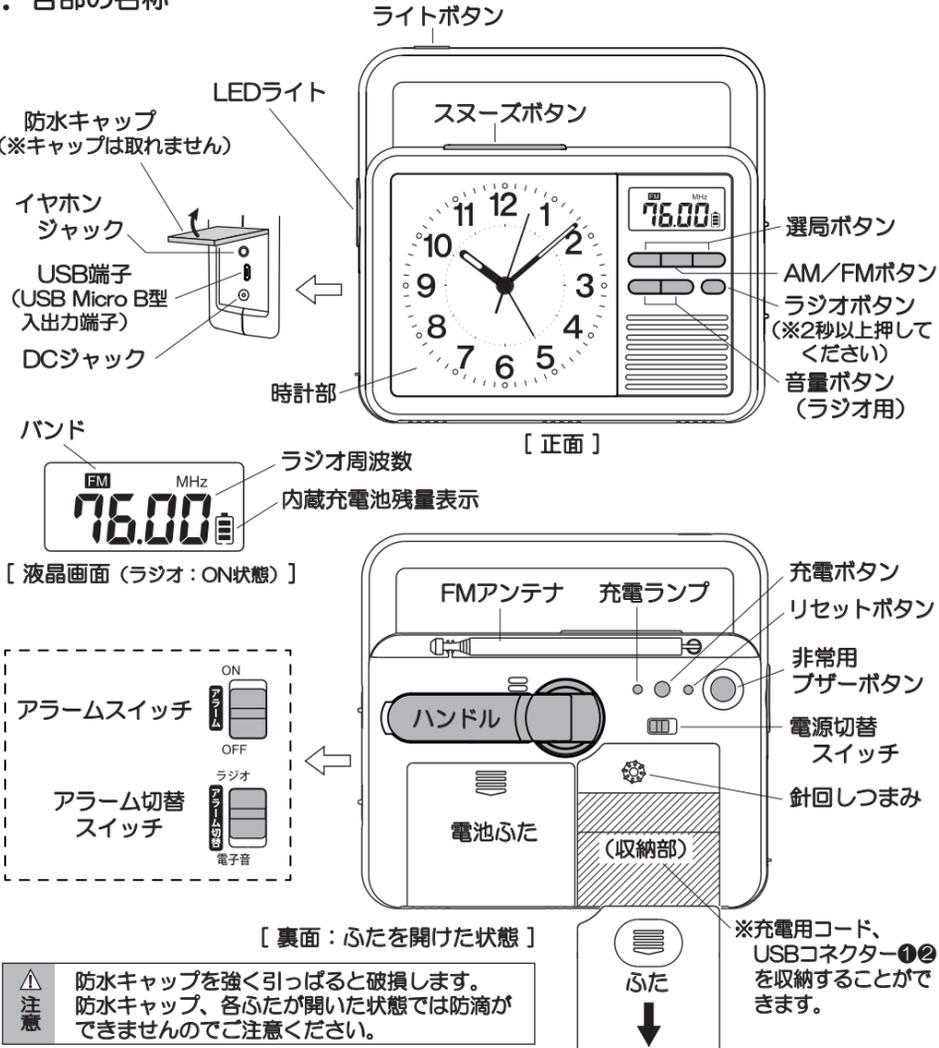
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- つぎの場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがあります。故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
  - ・表示部の透明シールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
  - ・指などで液晶パネルを押したとき

# ご使用方法 (1/2) (製品により外觀等が異なりますが、操作は同じです。)

## 1. はじめに

本製品の安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。  
製品によって、液晶画面に透明シールが貼ってあります。シールをゆっくりはがしてください。  
(このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。)

## 2. 各部の名称



**注意** 防水キャップを強く引っばると破損します。防水キャップ、各ふたが開いた状態では防水ができませんのでご注意ください。

## 3. 電源について

本製品の電源は、内蔵充電電池、乾電池(別売り)、ACアダプター(別売り)の3つから選べます。内蔵充電電池への充電は、USBで接続、ハンドルを回す、ACアダプター(別売り)を使用の3つの方法があります。尚、初めてご使用になる場合は、必ず内蔵充電電池へ充電を行ってください。

●各機能の持続時間の目安(持続時間は各機能を単独で使用した場合の目安です。)

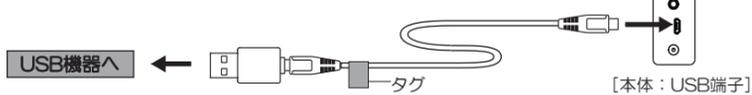
機能	内蔵充電電池	ハンドル	乾電池
時計のみ	約1年	約8日	約3年
ラジオ(音量8)	約12時間	約15分	約35時間
LEDライト	約20時間	約25分	約60時間
非常用プザー	約3時間	約5分	約9時間
携帯電話/スマートフォン	約20~30%を充電	通話:約2分 待ち受け:約30分	

【条件】  
内蔵充電電池…フル充電の状態  
ハンドル…1秒間に2回転のペースで約2分間回した状態  
乾電池…新品の単3アルカリ乾電池3個を使用

※携帯電話/スマートフォンは2012年現在です。

## ■内蔵充電電池をUSBで充電する

- 付属の「充電用コード」と「USBコネクター①」を下図の通りに接続してください。(※必ずタグ側を「USBコネクター①」に接続してください。)  
お使いのUSB端子のついた機器に接続してください。自動的に充電が開始されます。  
・充電が開始されると、液晶画面の「内蔵充電電池残量表示」が表示されます。



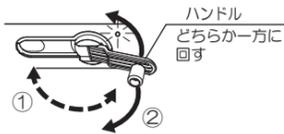
- 「内蔵充電電池残量表示」がフル充電状態で停止すると、充電完了です。
- 充電終了後は「充電用コード」をはずしてください。「内蔵充電電池残量表示」が消えます。  
※USB経由で充電時間は約4時間です。(ラジオ、ライト、プザーを使用しない場合)  
※ご使用の機器によってはUSBから充電できない場合があります。



●充電中はラジオ、非常用プザー、ライト、時計をご使用いただけません。

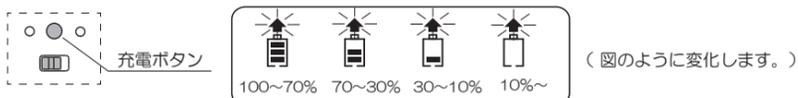
## ■ハンドルを回して内蔵充電電池を充電する

- 「アンテナ」を収納状態にして、ハンドルを引き起こしてください。
- ハンドルを回すと内蔵充電電池に充電されます。  
・片方の手で本体をしっかりと握り、もう片方の手でハンドルのつまみ部分を握ってハンドルを回してください。  
・回し始めはゆっくりと、そのあと1秒間に2回転のペースでハンドルを回転させてください。  
●発電中は「充電ランプ」が点灯します。  
●ハンドルに負荷がかからないように、ハンドルは一方方向に回してください。無理な力をかけると破損する場合がありますのでご注意ください。  
※ハンドルを早く回すと内蔵充電電池の性能が低下する場合があります。  
●ハンドルを止めると液晶画面に数秒間、残量が表示されます。



## ■充電電池の電池残量を確認する

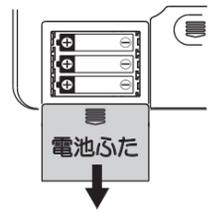
「充電ボタン」を押してください。  
・約2秒後、液晶画面に「内蔵充電電池残量表示」が約12秒間表示されます。



※内蔵充電電池は性質上、長期間ご使用にならないと寿命が短くなったり、使用できなくなることがあります。半年に1回、必ず充電してお使いください。また、充電と放電(ラジオを使用するなどによる消費)を繰り返していくうちに性能が低下します。尚、本製品の充電の使用限度は約500回までです。

## ■乾電池(別売り)を使う

- 製品の裏面にある「電池ふた」を開けてください。
- 別売りの単3アルカリ乾電池3個を十の向きに注意し、正しく入れてください。  
※十を間違えないでください。
- 「電池ふた」を閉めてください。  
※乾電池でご使用の場合は、電池切れ予告表示がありません。  
※乾電池から携帯電話/スマートフォンへの充電は出来ません。



## ■ACアダプター(別売り)を使う

ACアダプターを「DCジャック」にしっかりと差し込んでください。  
●ACアダプターは専用のアダプター(品番:ZZ262A)をご使用ください。  
※乾電池とACアダプターが併用されている場合、ACアダプターが優先されます。  
※内蔵充電電池を充電することができます。(充電時間は、約5時間です。)

## ■電源を選択する

「電源切替スイッチ」で電源を選択してください。



※ACアダプターまたはUSBで接続してご使用の場合は、「電源切替スイッチ」がどちらでもお使いになれます。

## 4. LEDライトを使用する

- 「電源切替スイッチ」で電源を「充電電池手回し」または「乾電池」に合わせてください。
- 「ライトボタン」を押すとLEDライトが点灯します。

## 5. 非常用プザーを使用する

- 「電源切替スイッチ」で電源を「充電電池手回し」または「乾電池」に合わせてください。
- 「非常用プザーボタン」を押すとプザーが鳴ります。もう一度押すとプザーが止まります。  
※非常用プザーの音量は調節できません。

**注意** LEDライトを直射したり、目に向けて照らさないでください。目を傷める恐れがあり、危険です。  
プザーは非常に大きな音が鳴ります。  
・耳の近くで使用しないでください。  
・非常時以外の時に使用すると近隣の方へご迷惑になります。ご注意ください。

## 6. ラジオ(モノラル)を聴く

- 「電源切替スイッチ」で電源を「充電電池手回し」または「乾電池」に合わせてください。
- 「ラジオボタン」を2秒以上押し続けてください。  
・液晶画面にバンド、周波数が表示されます。  
※初めてお使いの場合、FM76.00MHzにセットされています。
- 「AM/FMボタン」でAM、FMを選択してください。
- 「選局ボタン」の十、一を押して聞きたい放送局を選択してください。  
・ボタンを1回押すごとにAMは9kHzずつ、FMは0.05MHzずつ周波数が変わります。
- 1秒以上押し続けると早送りになり、受信状態の良い放送局に合わせます。(自動選局機能)  
・早送りの途中でもう一度押すと、早送りを停止します。  
※電波の受信状況が悪く受信できない場所では自動選局は自動的に停止しません。  
その場合「選局ボタン」を押して停止し、電波状況の良い場所に移動してください。
- 「音量ボタン」の十、一を押して音量を調節してください。  
※ラジオを使用中に「非常用プザーボタン」、「充電ボタン」を押すとラジオは中断します。

## ■良い受信状態で聴くには

- AM放送の場合  
本体を最も良く受信できる方向に向けてください。
- FM放送の場合  
「FMアンテナ」を伸ばし、アンテナを最も良く受信できる方向に向けてください。

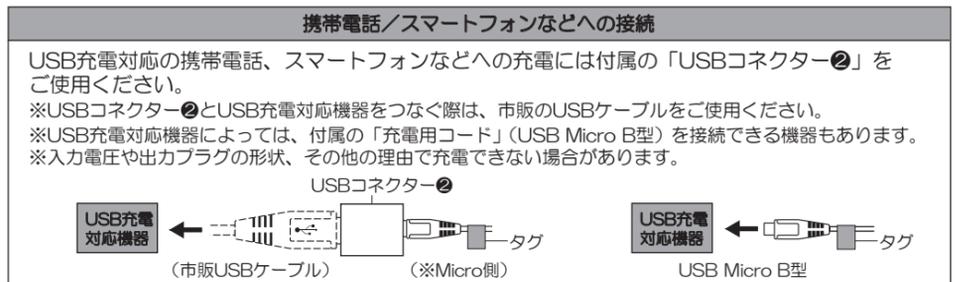
**注意** アンテナの向きを合わせる際、アンテナの根元で指を挟まないようにご注意ください。アンテナを動かすとき、先端部分を強く動かすと破損する場合がありますので、注意してください。

## ■イヤホン(別売り)で聴くには

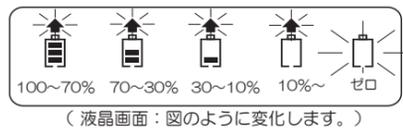
市販のステレオイヤホン(3.5mmミニプラグ)を「イヤホンジャック」に接続することでラジオを聴くことができます。(ラジオの出力はモノラルです。)  
※モノラルイヤホンもご使用いただけますが、音量が小さくなります。

## 7. 携帯電話/スマートフォンなどへ充電する。

- 付属の「充電用コード」のタグがない側を本体の「USB端子」に接続してください。 [本体: USB端子]
- 携帯電話/スマートフォンなどを下図の通りに接続し、「充電ボタン」を押してください。



・約2秒後、液晶画面に「内蔵充電電池残量表示」を表示し、充電を開始します。



- ※「内蔵充電電池残量表示」が消灯(約12秒)して充電しない場合は、それぞれ以下の操作を実施して再充電を行ってください。
- ・「「内蔵充電電池残量表示」が表示されるまで充電ボタンを押し続けてください(約5秒)」
  - ・「コードの接続を逆に(タグ側を本体に接続)して充電を開始させてください」
- 内蔵充電電池の残量がゼロの表示になると終了です。
  - 充電が終了しましたら「充電用コード」をはずしてください。  
・内蔵充電電池がフル充電でも、スマートフォンに100%充電することはできません。(機種により充電量は異なります。)

## ＜携帯電話/スマートフォンへの充電についてのご注意＞

※本製品は携帯電話/スマートフォンの一部機種に対応できない場合があります。  
※本製品はハンドルを回して直接の充電はできません。携帯電話/スマートフォンへの充電は、内蔵充電電池から行います。  
※充電用コードはケーブル部分をつかんで、差したり抜いたりしないでください。  
※携帯電話/スマートフォンの電池が完全に放電しきった状態では充電が出来ない場合があります。  
※携帯電話/スマートフォンの電池残量が半分以上残っている場合、充電できない場合があります。これらの電池残量が半分以下になってから充電してください。  
※携帯電話/スマートフォンの充電電池の状態によっては充電できない場合があります。  
※携帯電話/スマートフォンの充電状態は、携帯電話/スマートフォン側で確認してください。  
※詳細は、弊社ホームページをご参照ください。  
※万一、本機の使用により生じた携帯電話/スマートフォンのデータの消失、機能障害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求に対しても、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。